

## 地域懇談会実施報告書

自治会名 八坂山手地区（大平・切久保・中央・石原自治振興会）

開催日 8月21日（火曜日）

時間 7：00 ～ 8：40

開催場所 八坂支所 3階会議室

参加人数 68人

懇談内容 別添 議事録

質問等後日回答を要するもの

「大町市そばの里」宣言し、地域の活性化を目指してはどうか。

対応

行政側参加者 牛越市長 他6名

記録者 所属 八坂支所 総務課

氏名 中島喜一

## 八坂山手地区懇談会 議事録

8月21日(火曜日)午後7時～8時40分

**司会進行** 石原自治振興会長

平日の夜にも関わらず、大勢お集まりいただき感謝申し上げます。はじめに開会のあいさつを申し上げます。

### 1. 開会あいさつ

**大平自治振興会長**

連日猛暑続きで、また畑作の作業の忙しいところ大勢お集まりいただきありがとうございます。ただ今より、牛越市長との懇談会を開催いたします。

**司会** 続きまして、あいさつを切久保自治振興会長から申し上げます。

**切久保自治振興会長**

こんばんは。例年にない猛暑のなか本日地域懇談会にお集まりいただきましてありがとうございます。牛越市長にも公務でお忙しい中おいでいただき、たいへんご苦労様です。

八坂地域も合併し1年7ヶ月、地域としてはいろいろな課題が山積しています。特に少子高齢化が進み、高齢者だけの集落も増えています。若者が定住していくためには地域の産業振興をしてかなければならない。大町市では第4次総合計画が策定されましたが、この地域が安心して暮らしていける地域になるよう願っています。

今回は、牛越市長と身近にお話ができますので活発にお話いただきこの地域が活性化していくように、皆様方からご意見を頂戴したいと思います。限られた時間ですが、この懇談会が実りあるものになるようお願いし、あいさついたします。

**司会**

続きまして、市長よりごあいさつをいただきます。第4次総合計画を含め15分程度のごあいさつをいただき、懇談に入りたいと思います。なお、この懇談会は市長が就任以来皆さんから多くの意見を頂戴し市政に反映させたいという、たつての希望であり、今年度八坂地区では川手地区に続き2回目です。なるべく多くの方からご意見ご希望を出していただきたい。時間の制約もありますので、なるべく簡略に質問していただけるよう準備をおねがいします。それでは、牛越市長お願いいたします。

### 2. 市長あいさつ

こんばんは。日頃より市政にご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。7月25日に行われた野平の方々との意見交換会でも様々な観点からのご意見・ご提言をいただきました。いただいた意見の一つ一つを、実現可能なものから市政に反映させていきたいと考えております。

限られた財源・仕組みのなかでありますので、要望をすぐに実現できるとは限りませんが、要望はしっかり受け止め反映していきたい、あわせて市としてどの様に考えているかという現在の状況をご説明することも、この次にご提言をいただくための前提となりますので、説明責任と考えております。それもこの機会にさせていただきたい。

第4次総合計画については、私の公約を基に、市総合計画審議会の皆様にご審議と肉付けをいただき、昨年12月の市議会に提案し基本構想につき承認をいただいたものに、さらに1月から3月まで肉付け作業をしたものです。

【第4次総合計画につき、ダイジェスト版を使って説明】

- ・ 10年後の大町の将来像を描いたもの。
- ・ 文化の風薫る大町 過去の文化財に限らず、ここで生活する人々の暮らしも文化
- ・ 均衡ある発展と、一体感のある町づくりを大切に考えている。等

司会

ありがとうございました。それでは、懇談会の進行を、切久保自治振興会長にお願いいたします。

進行

ただいまより、懇談会に移ります。  
ご意見のあるかたは、挙手をお願いします。

出席者

産業振興による地域の活性化について

大町市では、そば処構想をかかげ取り組んでいますが、さらにPRをすすめるために、「おおまち市そばの郷宣言」というようなことにチャレンジしてはどうか。大町地区・美麻地区・八坂地区でも共通して良質なそばを提供しているので、産業振興につなげてはどうか。

観光の取り組みについて

唐花見湿原・三原農場・鷹狩山山頂へ、大町駅から夏の間など季節的なシャトルバスの運行はできないか。唐花見や鷹狩山山頂は、行政やボランティアにより整備等がされている。三原・四辻農場は高原野菜やそばが一面に作られており、八坂地区の観光拠点とおもわれます。

市長

について

観光は様々な切り口があり、雇用の創設という面からもここで生計を営んでいる方々にとっては重要な要素と考えます。大勢の観光客が訪れることで、地域を誇る気持ちや地域を見直す良い機会にもなります。そういう意味でも、特色ある地域づくりをすることは、それが観光に繋がったり住民の潤いある暮らしに繋がったりという意味で重要であります。

そば処構想は、前市長の提案ですが引き続き実施しており、市内の協力店マップを作成し、

従来からPRしてきています。今後もこの構想は進めていきたいと考えています。

その中で、「そばの郷宣言」はなかなかユニークです。大町・美麻・八坂各地区に美味しいソバ屋さんがあり、私自身もそばはとても好きです。公私ともにそばがこの地域の魅力の一つだと考えていますので、このユニークな発想、持ち帰らせていただきます。

アルプスあずみの公園・大町松川地区が平成21年春に開園しますので、これまでちひろ美術館あたりでUターンしていた観光客が、常盤南部まで足を伸ばしてくれることが期待されます。その先の清水地区には休耕田対策として、そばをかなりの面積栽培しており、それを見て観光客がそばを目当てに市街地まで足を伸ばしてくれるなど、さらに北まで観光客を引っ張って来たいという考えもあり、そばが大町を楽しんでもらうキーワードになると考えています。

について

この地域に密着した観光資源である、唐花見湿原・三原農場ですが、子どもの頃は三原農場で石器などの発掘をした思い出があり、また唐花見湿原は昨年2度ほど散策にきております。ボランティアの皆さんの協力により木道整備がすすんでいるところですので、大勢の方が来てくれるのではないかと、期待しているところです。鷹狩山は3本のルートがあり、どの路も味わいのあるアプローチであり、シャトルバスなどを運行すれば大勢の皆さんが訪れてくれると思いますが、大きなバスは無理なのでマイクロバス程度が切り回しの事も適切かと思われま。鷹狩山の展望の素晴らしさを大勢の人また大町の人にも知ってもらおうというのが大事だと思います。そのために、足の便を考えていくのも一つの案であるけれども、これの事業として恒常的に行うというのは、仕組みづくりが難しい部分もありますので、もう少し時間をかけて検討させていただきたいと思えます。

## 出席者

八坂地区内の施設存続について

合併して2年近くになります。保育園・小中学校・八坂支所・みさか・診療所など当面は統合することなく存続するということでしたが、今年の小学校入学者が2名と言うことを考えると心配な面があります。なんとか今後も存続をお願いします。

相川トンネル以西の道路改良について

県の管轄であろうと思いますが、工事が進んでいないがようですが、地元の要望が強い道路ということでなんとか早急に改良を進めてほしい。

ゴミ焼却施設の建設

建設用地を白馬村に絞ったところ、揉めているようですが今後どのように進めていくのか。

## 市長

について

地域の拠点としての施設は生活の利便性の面でも需要ですが、地域の心のよりどころでもあり、大事にしていきたい。一般論としては、今年の小学校入学者が2名ということになると、単に財政や効率化の面から出なく、教育と言う観点からして適切な規模という観点で考えなければいけない。検討する際には粘り強く皆で議論し、その結果を受け止めていきたいと考えていま

す。

について

昨年まで、県単独事業として国の補助なしで行ってきた事業でなかなか大規模な工事に手がつかなかった経過があります。大町建設事務所によると、国の補助金を導入してもう少し大規模に改良を行う事を検討していると、非公式ですが聞いています。

山清路の道路改良も 20 年度から本格化する見通しで、そうなれば大町から聖高原へ抜ける道として、この相川の道路も今までより重要になってきます。大町建設事務所も道路の重要性を認識していますので、私のほうからも道路整備の促進をお願いしていきます。

について

ゴミ処理の広域化については、ご心配をおかけしております。

大北地域は5市町村で組織し、その中で北部の3市村で広域的なゴミ処理をしようとして、5年前に基本的な考え方が取りまとめられ、調整をしてきたところです。昨年候補地を絞り込んできており、最終的に1箇所絞ってその地域に提示し、環境アセスメントを行い問題がない事を確認した上で、建設候補地として確定し地元合意をいただいて建設に着手しようというスケジュールで進めております。

そのなかで、候補地を1箇所絞って発表するのは唐突ではないか、という指摘もありますが、やり方は様々で、複数の候補地を発表すればそれぞれの候補地から反対を受けるといった事例がある。施設に対する規制も厳しくなっており施設の内容が整ってきていますが、やはり不安がともない自分の近くに作るのには反対だという意見もあります。

また、用地選定の過程では、内部の検討委員会で絞込みをしたわけですが、その際外部の専門家を入れて専門的見地からも検討するべきではなかったかという意見もあります。これについては、用地選定の要件、施設の望ましいありかたについて市民の皆さん・専門家からの意見を集約し、その意見をもとに候補地を絞り込んでいったという経過があります。

2月23日候補地発表以来、地元の皆さんに説明会を始めていますが、なかなかご理解をいただけない点もあります。今後どのように意見集約をするか、議会にも相談しながら、考え方を整理していきたい、という段階です。

白馬村でも、地域懇談会をおこなっており、その際ゴミ処理施設の現在の状況について説明をしているところです。それが9月頃まで続き、その後村の考え方を整理しながら、広域連合として今後の進め方を整理していきたいと考えています。

広域で処理をすることにより、煙突の数を減らしていくことで、自然への負荷を少なくしていこうという趣旨についてもご理解いただくよう粘り強く進めてまいりたいと考えています。

## 出席者

観光について

仁科神明宮への道が整備され始めているが、駐車場の不足が心配される。その際駐車場の整備は行政で行うのか、民間でおこなうのか。つまり、八坂には覚音寺・唐花見湿原・鷹狩山などの宝があるが、これを結ぶ道の整備ができておらず、大型バスが入れない状況です。その参考に神明宮の整備予定を聞きたい。

また、美麻・大町地区の観光資源とのアクセス道を整備し観光のルート化を図れないか。

#### 市長

観光の多様化・変化について一緒に考えていただきたいのですが、たとえば大町温泉郷を訪れる観光客が以前は観光バスの団体客でどっと宿泊していくというのが一つのパターンだったのですが、今は多くは小グループか家族旅行という風になってきています。黒部ダムへも、もちろん観光客は訪れますが、それだけではなく小グループでもっとじっくり味わいたいとか、癒しをもとめて静かなところで過ごしたいとかそういった人たちも出てきています。そうしたことに対応していくためには、私たちが、観光資源だと考えていなかった物にも着目する必要もあろうし、そうした観光資源を選択できる仕組みも大事になってくるでしょう。

神明宮への道路改良ですが、アルプスあずみ野公園からまっすぐ宮本橋を通過して神明宮へ上っていく道路で、ネックとなるのが宮本の集落の中の道路改良が進んでいないという点です。当面は部分改良をしながら、側溝を整備し道路の有効幅員を確保するなどの整備をしていきたいと考えています。

駐車場の問題は、まだ地域から広げてほしいという要望はあがっていないが、神明宮は宮本地区で大切に守ってきた経過があり、仮に駐車場を広げることになった場合に、事業主体をどこが担うかという事は調整をしなければいけない課題ですが、市街地に設置している市民の生活の便を図るための市営駐車場と同様に、観光施設に直ちに市営駐車場を整備する事が適切かどうかという問題があります。具体的課題として検討していかなければいけない時期が来るだろうと考えております。覚音寺や鷹狩山の駐車場も同様、駐車場等の整備が必要となった場合には、一つ一つの事例に即して考えていきたいと思っております。現時点では明確なお答え用意しておりませんがご理解をお願いします。

#### 出席者

森林セラピーについて

温泉郷でも空き地を利用しやっているようだ。大町にある資源を行かせる事業だと思うので、市として取り組んではどうかと考えます。

#### 市長

伊那では、平地林が多い南箕輪村で村が主体となって森林セラピーを目的とした遊歩道を作ろうと、コモンズ支援金を受けて今年から動き始めたようです。

温泉郷の遊歩道は、大町温泉開発と温泉協会が協力し整備したとのことです。また、有害鳥獣対策として間伐をした林間を散策する観光客が増えたそうで、もともとの目的とは違いますが、観光客の森や森林への憧れを感じます。

また長畑の里山でも有害鳥獣対策として間伐が進められています。その整備された里山で、長畑の住民が遊歩道を作ろうと計画しています。林をきれいにすることで、有害鳥獣対策にもなり、林を健康にし、さらに遊歩道として整備すれば森林セラピーとしても利用できる、これは少し間口を広げて考えていきたいと思えます。

## 出席者

八坂地区の高齢化と、ユメクラブへの援助について

自分の住む集落も高齢化が進み、10～15年後の集落形成にも不安を感じている。そこで、ユメクラブを、大町市全体の若者が利用できる組織になるよう、ご支援をいただきたい。

山村留学の継続と支援を

今年の小学校入学者は2名、今後の効果的な教育を考えると心配になるが、自然豊かで子ども達のがびのびと勉強出る八坂小中学校の環境は、他に誇れるものです。また山村留学は過疎化が進む中ではその役割は大きく、これからも継続していくために大町市として支援をしていただきたい。

市長

について

19年度予算編成時に、こういった事業は応援していく必要があるだろうということで予算付けしているところです。これからも十分には行かないまでも、市の予算を通じて応援していきたい。

について

小中学校は地域の拠点ということで、大事に考えていきたい。集団で行う競技などは難しくなってくるが、少ない人数であるからこそ指導の目が行き届き、能力も磨かれるという面もある。効率的・財政的見地からのみ判断するという事は一切しません。山村留学は、非常に特色のある取り組みとして地域で33年やってきている。これが地域の活力にもつながっていると認識している。先日公明党の国会議員が山村留学を見学し、今後の政策の一つの柱にしたいと言っていた。教育の多様化を考える上で大きな選択肢になるし、山村留学を受け入れる事により、地域の再生にも役立っている。そのような活動に対しては市としても応援していきたいと考えています。

## 出席者

観光振興の一環としてお祭りを生かすことについて

やまびこまつりに、地域の人ばかりでなく、全国の人が踊りに参加できるようにしてはどうか。八坂の明日香荘では、踊り連にお客さんも参加してもらい喜んでもらっている。また、王子神社の例祭にも、市民ばかりでなく大勢の人が参加できるようにできないか。協働の精神で、政教分離ということもあるが市としてもお祭りに協力できないか。

## 市長

やまびこまつりというのは、もともと市民祭りで市民の融和を目的にされているお祭りですが、観光都市としてはその時訪れていた観光客に参加していただくという事も、考えていかななくてはいけないでしょう。今までも、木崎湖畔に合宿に来ている方たちや、農業体験で滞在している方々に参加していただいたという事例はあるようです。それをもっと大きな輪にしていく必要はあるでしょう。ただ、市民祭りは同じ日に近隣でもおこなっているのでも、近隣からの集客は難しいも

のがあるだろう。

今まで参加していなかった、大町温泉郷の従業員の方たちが、中心市街地との連携も図ろうという事で、今年から踊り連に参加してくれています。そのように、少しずつ輪を広げ、大勢の人に楽しんでいただくということを考えていかななくてはならない。

王子神社は氏子のお祭りですが、5月に全国みどりの集いが開催された際、近隣の市町村から文化財を展示しようということで、大町市は県宝に指定されている大黒町の舞台を展示しました。全国に誇れる文化財ですので、大勢の皆さんに見ていただくという取り組みが必要だと思います。

王子神社の氏子総代からの相談で、今年のお祭りのポスターについて、観光エージェントに「観光客にアピールする力が弱い」といわれたそうです。本格的に大勢の人に来ていただくためには、本気で取り組まなくてはならないなと思いました。来年は、もう少し大勢の方々に来ていただけるよう取り組んで行きたいと考えています。

政教分離は重要な観点です。王子神社の例祭を支援するという事になれば、私が会長を仰せつかっております大町市観光協会という民間の立場で、お祭りをバックアップすることは出来ると考えております。

#### 出席者

お祭りの売込みをエージェントに依頼するのならば、来年では間に合いませんので、来年に間に合うよう、今年のうち動き出していきたい。

合併浄化槽管理費の入金を農協八坂支所でするときに、手数料がかかる。そのあたりをなんとかしてほしい。

#### 市長

について

やまびこまつりの反省会はこれからですので、来年に間に合うよう検討していきたい。

について

合併浄化槽の入金の問題は、私も承知していなかった。JA八坂支所については、支所機能を維持していただくよう、JAにはお願いをしているなかで、総合的に判断させていただきたい。なるべく経費的なご不便をかけないようにしてまいりたい。

#### 出席者

JA移動購買車の存続について

移動購買車の運行で、地域のお年寄りたちはありがたく思っているわけですが、最近運行の継続が出来ないのではという話が聞こえてきます。今現在も継続してもらっている事には非常に感謝しています。継続が出来ないとなった時に、八坂全般で一人暮らしの高齢者が増加している中、これからどうやって生活していけばいいかと不安に思う方々が大勢いるところです。村時代も、購買車に対する助成などを検討し存続をしてきた経過もあり、市としても農協と話し合う中でなんとしても存続をお願いしたい。

## 市長

今春、農協との意見交換会を行った際、JA全体として支所のあり方など抜本的な業務の見直しを行うとの話があり、その中に異動購買車の見直しも検討しているという話もあった。その際の方策が固まっていたわけではないが、いずれその打診が来るであろうと警戒をしていましたので、その際に、八坂地区の高齢化が進んでいるなかで、食料品を中心として生活物資を得るとするのは命の綱であると、市としてもお願いをしてきたところです。そうした中で、今年度末をもって購買車の見直しをしたいという意向が固まってきているようですので、その決定がされる前に、どのような方策が可能かどうか検討をしているところです。

先日、八坂地域づくり協議会の皆さんから正式の陳情をいただきました。市としても、命の綱であるという認識をもって検討していきたいとご回答した。村時代に、JAが事業主体となって購買車の車両購入に対し2分の1の助成をする事で維持してきたと言う仕組みを前提とした検討、また他の方策として例えば宅配の方法がないだろうか、あるいは逆にデマンドのタクシーやマイクロバスにより町に買い物に行っていただくのはどうか、など幅広い検討が必要だと考えており、企画課・八坂支所・農水・商工労政課など関係の課に近々集まってもらい、プロジェクトとしてこの問題を整理するようという指示をしております。一番の原点として、困っている人に手を差し伸べるというのが行政の役割だと言う事を念頭において幅広く検討させていただきたい。リミットが決まっている事ですので、時期を逸する事のないよう進めてまいりたいと考えております。現段階では、明確なお答えが出来ませんが、そのような考えで進めてまいります。

## 出席者

### 県道沿いの産廃について

県道沿いにコンクリートの産廃が山積みになっているが、保健所の管轄かとは思いますが、市としてあの様な施設に対し指導は出来ないものか、お考えをお聞かせ下さい。

## 市長

新切沢あたりですか、コンクリートの破碎屑やアスファルトなど、産廃に分類されますが、その破碎工場とそのストックされているところがあります。産廃というのは難しい法制の中にあり、大部分が県の権限、一部市の権限になる部分がありますので、市の権限においても指導などを行う権限が与えられております。

人間の生活の中で、廃棄物がでるという前提で法が定められていますので、一定の法律要件を満たせばそれ以上の指導というのはなかなか難しいというのが実態です。

一方で、景観という観点から申し上げますと、好ましいものではないのは事実です。ただし、法律的な権限を基に指導するとうことは出来ない事ですので、やはり事業者のご理解をいただくという取り組みが必要かと考えております。

公共事業ででた廃棄物は破碎して再利用できればするというのが奨励されていますので、そんな処理の過程の一つかと考えており、ああいった施設はどこであれ必要であるということは事実です。ただ大勢の人が通るあの場所がいいのか、というのは今後の市の土地利用計画の中

に位置づけて考えてかなければならない問題ではあります。

また雨水等が汚水となって敷地の外に流れ出すというようなことがあれば、保健所と連携を図り市としても様々な法規制の中で認められない事ですので、対応していきたいと考えています。

#### 司会

まだまだご意見はあろうかと思いますが、限られた時間が参りましたのでこれで懇談会は閉じたいと思います。不慣れな座長でしたがよろしくご容赦下さい。

#### 4. 閉会のあいさつ 中央自治振興会長

長時間ごろうさまでした。まだ発言しきれなかった方もあろうかと思いますが、また振興会等でお話していただき、支所・市長さんのほうへお伝えしたいと思いますのでよろしくお願いします。以上を持ちまして懇談会を終了といたします。